

特集Ⅱ

平成29年中に発生した

長万部町の交通事故を分析



**ストップ・ザ・交通事故
くめさせ 安全で
安心な北海道**

交通事故のほとんどは、ドライバーの一瞬の「不注意」が大きな原因になっていますが、自らすすんで「不注意」になるうとする人はいないはず。にもかかわらず「不注意」による事故が絶えないのはなぜでしょうか。それは「不注意」という現象は、注意しようと思いがけさえすれば防止できるほど単純な心的現象ではないからです。

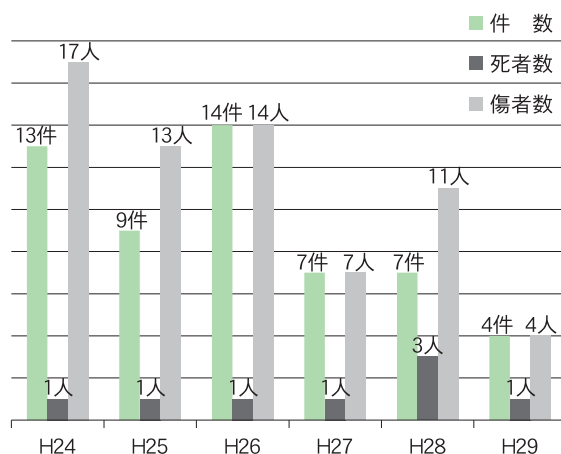
「不注意現象」は、不注意というかたちで単純に現れるのではなく、注意を保つという反応のなかで出現してくるもので、いわば、注意と不注意は裏表一体の関係にあり、両者は同時に存在するものです。多少の不注意が生じててもそれを交通事故に直結させないよう、常に危険を先読みしながら運転する事を心がけましょう。

全国の交通事故死者数は、3,694人で昨年より210人減少しており、過去最少を更新しました。

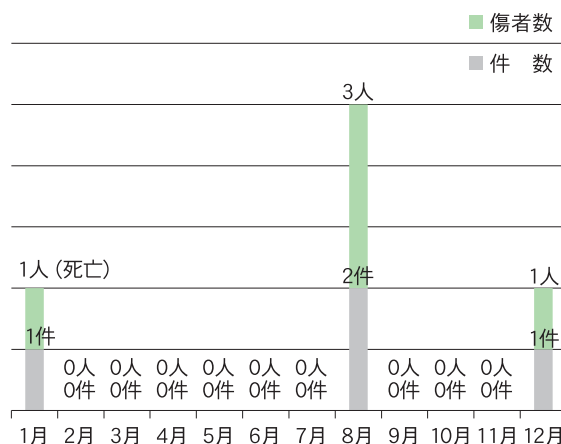
しかしながら、交通事故死者数が減少したとはいえ、尊い人命が失われていることに変わりありません。

今月号では、交通事故撲滅の願いを込めて、昨年一年間に私たちの町で発生した交通事故を分析してみました。

年別町内発生交通事故の推移



月別町内発生交通事故の推移



1人が死亡
4人が重軽傷

長万部町内で昨年一年間に発生した交通事故は4件、傷者数は4人で、どちらも昨年より大きく下回り減少となりましたが、残念なことに6年連続で死亡事故が発生し、町外の女性1人が高速道路で犠牲となりました。

北海道全体における交通事故死者数は、前年と比べて10人少ない148人と北海道の統計が始まった昭和22年以降最も少ない記録になりました。全国交通事故死者数は、ワースト8位となり、昨年の5位より好転しました。

道路別の発生状況では、国道5号線で2件、高速道路・その他道路で各1件ずつ発生しています。これらの事故は町外からの通過車両によるもので、冬には高速道路で死亡事故も発生しております。比較的に見通しの良い道路であることが、速度の出し過ぎや無理な追い越し、居眠り運転などの原因になっているものと思われる。また事故を起こしやすい場所としては、信号機のない交差点や見通しの悪いカーブなどが多いため、一時停止や徐行運転を心がけましょう。

交通事故死は
高速道路で

前方不注意が
死亡事故の要因に

事故類型別の発生状況を見ると、4件中3件が車両相互による事故で、人対車両の事故が1件発生しております。法令違反別の発生状況では後方確認が1件、ブレーキ操作が2件、前方不注意による死亡事故が1件おきており、4件全てが安全運転義務違反により発生しています。便利な自動車も安全運転を怠ると、恐ろしい凶器になってしまう。車を運転するときは、心に余裕をもって速度を抑え、十分な車間距離をとり、適度な緊張感をもって運転しましょう。

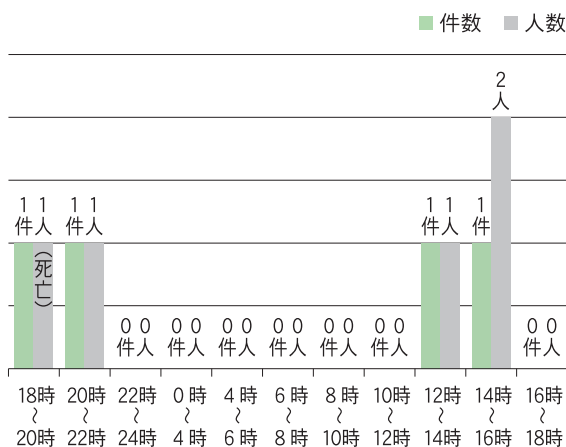
飲酒運転は、平穏な日常を一瞬で悲劇に変えてしまいます。

一人ひとりが「しない、させない、許さない」の心を持ち、飲酒運転のない、安全で安心して暮らせる社会の実現を目指しましょう。

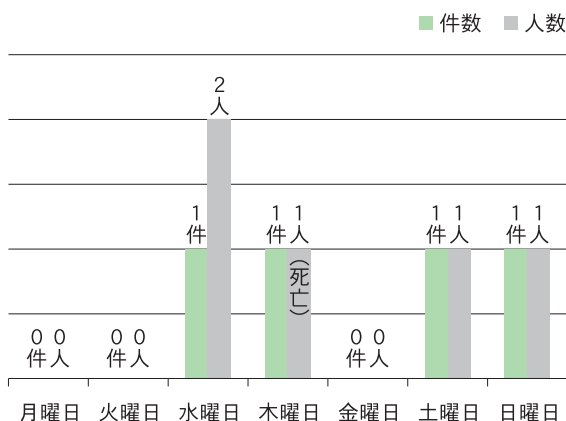


道 路 別	事 故 類 型 別	法 令 違 反 別	通 行 目 的 別
■国 ・5号 [2件・3人] ■その他道路 [1件・1人] ■高速道 [1件・1人] (うち死亡1人)	■人対車両 [1件・1人] ■車両相互 ・追 突 [2件・3人] ・そ の 他 [1件・1人] (うち死亡1人)	■安全運転義務違反 ・前方不注意 [1件・1人] (うち死亡1人) ・ブレーキ操作 [2件・3人] ・後方不確認 [1件・1人]	■観光・娯楽 [1件・2人] ■買い物 [2件・2人] ■その他 [1件・1人] (うち死亡1人)
※[発生件数・死傷者数]			

時間別事故発生状況



曜日別事故発生状況



ゆとりを持った安全運転で

時間別の発生状況では4件中2件の事故が夕方から夜にかけて発生し、午後からも2件発生しております。特に18時から20時の間に死亡事故も発生しております。

曜日別では、水・木・土・日曜日に事故が起きております。通行目的別では、買い物や観光で事故が発生しております。

目的は様々ですが、時間に余裕がないとスピードの出し過ぎや前方不注意などが多くなり、その結果交通事故を起こす可能性が高くなります。

日頃から気持ちに余裕を持った運転を心がけ、運転する際には体調を万全にし、時間的、精神的に余裕を持つて運転することが大事です。

疲れたときにはこまめな休憩を

長時間の運転は、疲れが蓄積されやすく、その結果漫然運転や最悪の場合は居眠り運転につながります。

車の運転は、夢中になりすぎることもあり、つい休憩を取り忘れてしまいます。また、集中しているため、疲れを感じにくい場合もありますので、

疲れを感じたら、こまめな休憩を取るよう心がけましょう。

高齢者の事故が増えています

全国的に交通事故による死者数は減少傾向にある一方で、65歳以上の高齢者が占める割合は、年々高くなっています。高齢者の交通事故は、夕暮れ時から夜にかけて多く発生する傾向にありますので、交差点を渡る時は少し遠回りでも、横断歩道を利用しましょう。

また、自動車を運転する方は、運転に自信がなくなったり、家族から「運転が心配」と言われたら、運転免許証の自主返納を考えましょう。